

令和四年度一般選抜学力検査問題

国語

(一時間目 六十分)

注意

- 一 問題用紙と解答用紙、メモ用紙のそれぞれの決められた欄に、受検番号と氏名を記入しなさい。
- 二 問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 三 問題は1ページから6ページまであります。これとは別に解答用紙とメモ用紙がそれぞれ一枚あります。
- 四 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号

氏名

- 一 「聞くこと」に関する検査
 - 二 次の【表】と文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。
-

三 次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

一般的に「博物館」の印象とはどのようなものでしょう。「^①敵かな雰囲気の建物」や「^②キチヨウなもの」を収蔵している施設」でしょうか。現在、日本には六千もの「博物館」があるとされています。例えば、地域の歴史資料館は、最も身近でなじみ深い「博物館」です。科学館や美術館なども「博物館」ですし、意外に思^③うかもしれませんが、動物園も「博物館」に該当します。それぞれの「博物館」が担^④う役割は多種多様ですが、先人が守り伝えてきたものを未来に継承^③するというイトナミは、共通しています。

1 ^①敵か ^③継承 の読み仮名を書きなさい。

^②キチヨウ ^④イトナミ を漢字に直して書きなさい。

2 身^①近^②で^③な^④じ^⑤み^⑥深^⑦い の「身近で」と「なじみ深い」の文節どうしの関係を、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア 主語・述語の関係 イ 修飾・被修飾の関係

ウ 補助の関係 エ 並立の関係

3 思^①う の活用の種類を、解答欄にしたがって書きなさい。

4 多^①種^②多^③様 と同じ意味を表す四字熟語を、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア 大同小異 イ 千差万別

ウ 花鳥風月 エ 適材適所

四

次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

五 次の文章を読んで、1～5の問いに答えなさい。

ある時、鷺わし、「蝸牛かたつぶりを食くらばや」と思おもひけれども、いいかんとも

せん事を知らず。思おもひ煩わづらふ処ところに、鳥からす 傍かたはらより進すすみ出でて申まをしけるは、

「この蝸牛、亡なさん事、いとやすき事にて侍はべる。我わがが申まをすやうにし

給たまひて後、我わがにその半分を与たまへ給たまはば、教たてまつへ奉まをらん」といいふ。鷺、

うけがふて、その故ゆゑを問とふに、鳥申まをすやう、「蝸牛を高たかき所より落おうけがふて、
(同意して) (方法) (同意して)

し給たまはば、その殼か、忽たちまちに碎くだけなん」といいふ。則すなはち、教たてまつへのやうに

しければ、案あはの如ごとく、たやすく取とつて、これこれを食くふ。
(鳥の提案通りに)

その如ごとく、たとひ権門高家の人なりとも、我わがが心こころを恣ほしままにせず、智ち
(このように) (権力があり身分が高い家柄) (思おもうがままに)

者の教たてまつへに従したがふべし。その故ゆゑは、鷺と鳥を比ひべんに、その徳とく、など
(備そなえた能力)

かは勝かるべきなれども、蝸牛の技わざにおおめては、鳥、最ももこれを得えた
る。事ことにふれて、事毎ことごとくに人に問とふべし。
(物事に応じて)

(「伊曾保物語」による)

1 やうに ① おめては ② を現代仮名遣いに直しなさい。

2 A～Dの～～線部のうち、主語が他と異なるものを、一つ選んで記号を書きなさい。

3 いかんともせん事を知らず とあるが、何を知らなかったのか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

ア 蝸牛の中身の取り出し方 イ 蝸牛を見つけ出す方法

ウ 蝸牛がたくさんいる場所 エ 蝸牛が食料になること

4 教へ とあるが、その具体的な内容を、解答欄にしたがって二十字以内で書きなさい。

5 次の文章を読んで、【授業で学習した漢文】と比較している生徒A、B、Cの会話である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

【授業で学習した漢文】

〔書き下し文〕

騏驎驪きりんりうは一日にして千里を馳はするも、
(足の速い名馬)

鼠ねずみを捕とふるは狸狽りせいに如ごとかずとは、技わざを殊ことにするを言いへるなり。
(猫やイタチには及ばない)

〔莊子〕の一節

A 本文の「智者」は、「知恵がある者」という意味だよ。

B 「智者」にあたる動物は、「a」だね。能力では劣るよ。にみえるけれど、鼠を捕るのが上手な狸狽と似ているよ。

C お互いに違った技能をもっているということなんだね。このことを、漢文では「b」と書いてあるよ。

A 国や時代が違ってても、共通するテーマがあって興味深いね。本文には、「智者」の教えに従うのがよいとも書かれてい

B るよ。そのためには、自分の力で何でもできると思わずに、それぞれの分野の「c」ことが大切なんだね。

C これからの生活に役立ちそうな教訓だね。

- (1) 「a」に当てはまる語句を、本文中から漢字一字で抜き書きしなさい。
- (2) 「b」に適する内容を、「書き下し文」の中から六字で抜き書きしなさい。
- (3) 「c」に適する内容を、十字以内で書きなさい。

六 次の【表】は、ある国語辞典の第一版と第八版の記載内容についてまとめたものである。この【表】から気付いたことを具体的に取り上げながら、「言葉」について考えたことを、後の〈条件〉にしたがって書きなさい。

【表】

語句 版	第一版(昭和四十七年発行)	第八版(令和二年発行)
聖地	神・仏・聖人などに関係のある、神聖な土地。	① 神・仏・聖人などに関係のある、神聖な土地。 ② ある物事に強い思い入れのある人が訪れてみたいとあこがれる、ゆかりの場所。
リサイクル		いったん使用され廃物となった新聞紙・金属製品などを捨てずに回収して、再び資源として利用すること。

※「リサイクル」は、第一版には掲載されていなかった。

〈条件〉

- ・ 題名は不要
- ・ 字数は二百字以上、二百五十字以内